

あなたにとって 「いちばんよいこと」を



あなたがいま、いちばんのぞんでいることは何ですか？
あんしんできる「いちばしょ」、たのしくて勉強がよくわかる学校、
自由でのびのびとした生活など、「いちばんよいこと」「うれしい
こと」がひびびんできて、だれもが「もがもがしくすごすこと」が
できるようにします。(横山 勇)

あなたの気持ちを おしえてください

このリーフレットを読んで「いいなあ」と思ったこと、「そんなふうになってないよ」ということがあったら、おともちやまわりのおとなと話し合ってみませんか、そして、「子ども全国センター」にもおしえてください。

「子ども全国センター」は、「子どもにとって、もっとよいこと」を実現するために、日本の子どもたちのようすをまとめて調査にとけています。子どもたちの声もそのままとどけたいと思えます。

右のQRコードがFAX、はがきをつけて、おくと
てください。



子どもの権利・教育・文化 全国センター
(子ども全国センター)

〒102-8484 東京都千代田区二番町13-1
全国教育文化会館・エデュカス東京5階
TEL:03-5211-0133 FAX:03-5211-0134
HP: <https://kodomo.p-web.biz>
E-mail: kodomo@kodomo.p-web.biz



2014050807



「子どものけんりじょうやく」 ってなあに？

世界じゅうのすべての子どもが、元気に、たのしく生活していくためにひつような、たくさんの「けんり」をもっています。「ほごしゃ」や「せいせい」など、まわりのおとなや、「せいせい」は、すべての子どもがこれらの「けんり」をその子自分のためにつがえるようにしなければなりません。世界じゅうの国のどいひょうが集まって、そのことをやくそくしたのが、「子どものけんりじょうやく」です。

このリーフレットには、この「じょうやく」に書かれたたくさんの「けんり」の中で、みなさんにぜひ知ってほしいものがのっています。お家だちやまわりのおとなといっしょに読んでみてください。

「ねがい」を受けとめ
いっしょにじつげん



こちらのなかにある「ねがい」や「かんがえ」を、じぶんのやり方であらわして、聞いてもらい、受けとめてもらう「げんり」を、すべての子どもがもっています。それをじつげんするために、友だちやおとなと「いっしょ」にかんがえ、行動することができます。(第12～16巻)

たのしく学びたい
わかるように教えて



どれも、その子にわかるやり方で教えてもらって、たのしく学び、どこまでものびていく「げんり」をもっています。よりよい環境がおこなわれるよう、せつびをととのえたり、すくなく入居でゆっくり学べるようにしたりするのは、「せいのり」のしごことです。(第28～29巻)

自由なじがんとあそび、
ゆっくりできること



自由につかえるじがんであって、思うぜんぶんあそんだり、のんびりしたり、ゆっくりやさんだりするこは、子どもにとって、とてもたいせつな「げんり」です。文化やスポーツをたのしむこは、心とからだをゆたかにしてくれます。(第31巻)

「ぎゃくたい」や「たいぼつ」、
差別があつてはなりません



すべての人は、生まれるがらに平等で、人としてたいせつにされます。だれひとり、たとえどんなこがあつても、どめられたり、たたかれたり、いじめられたり、差別されたりしてはなりません。そんなこがないよう、守ってもらう「げんり」があります。(第2巻・第9巻)